

12月期決算は、営業利益が前期比17・9%増の11億6200万円となり、初めて10億円を超えた。合成樹脂、化学品、産業資材、情報電材の各事業が売り上げを伸ばした。経常利益は17・1%増の13億7900万円、純利益は16・4%増の8億8300万円だった。

売上高は9・6%増の712億600万円。部門別では、化学品事業が24・5%増の235億8300万円と最も高い伸びを示した。吸水性ポリマーや油脂油剤などが大幅に増加したほか、アクリル酸、フマル酸なども伸長した。

合成樹脂事業はエクステリア用ポリカーボネート(PC)板の好調などにより2・7%増の337億1800万円。アルミ2次・3次製品などが伸びた産業資材事業は2・4%増の84億7000万円、スマートフォン、タブレットPC関連接着剤・コーティング材などが好調だった情報電材事業は12・1%増の52億1800万円となった。

営業益10億円突破

昭和興産12月期決算

昭和興産の2014年